



開催日
令和6年5月3日(金・祝)
14時開演(13時15分開場)

会場
川崎市麻生市民館大ホール
(小田急線新百合ヶ丘駅 北口徒歩3分)

人間国宝の競演

友枝昭世と山本東次郎の至芸

解説
馬場あき子

狂言
素袍落
山本東次郎

能
羽衣
友枝昭世

アフタートーク
馬場あき子、山本東次郎、友枝昭世



能「羽衣」友枝昭世



狂言「素袍落」山本東次郎 (撮影：神田佳明)

■料金【全席指定】SS席 6,000円 S席 5,000円 A席 4,000円 U25割(S席) 2,500円 U25割(A席) 2,000円

※U25割：未就学児を除く25歳以下の方。S席・A席エリアのみ選択可。来場時に生年月日のわかる身分証明書提示。

川崎市市制100周年記念事業
アルテリッカは、ジャンルを超えた芸術の祭典！ 2月1日(木)より発売スタート！
良いお席はお早めに

インターネット

アルテリッカしんゆり公式ホームページ(24時間対応)
<https://www.artericca-shinyuri.com/>

電話予約

しんゆりチケットセンター
TEL. **044-959-2255**

(9:00~19:30 3月までは平日のみ、4/1から毎日営業)
※毎月の施設点検日を除く

窓口販売 (A、B、C、D/地図参照)

- A** しんゆりチケットセンター (川崎市アートセンター内)
(9:00~19:30) ※毎月の施設点検日を除く
- B** 新百合トウェンティワンホール (10:00~17:00)
- C** 昭和音楽大学チケットセンター (昭和音楽大学南校舎内)
(10:00~12:00/13:00~18:00) ※2/1、2/2、2/22、3/8、3/15、土・日・祝を除く
- D** マイタウンチケットセンター マブレ専門店街「写真工房」内
(平日9:00~19:00/土・日・祝10:00~19:00)



チケットご購入のご案内

主催：公益財団法人川崎市文化財団 共催：川崎・しんゆり芸術祭実行委員会 川崎市 川崎市教育委員会
後援：「音楽のまち・かわさき」推進協議会 NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり 「映像のまち・かわさき」推進フォーラム

解説 馬場あき子

狂言 素袍落

シテ(太郎冠者) 山本東次郎

アド(主) 山本凜太郎
アド(伯父) 山本則重

休憩(20分)

能 羽衣

シテ(天女) 友枝 昭世

舞込

ワキ(漁夫白龍) 館田 義博

大鼓 大倉慶乃助
小鼓 森澤 勇司

太鼓 小寺真佐人
笛 藤田 貴寛

後見 中村 邦生
友枝 雄人

地謡 佐藤 寛泰
友枝 真也
内田 成信
佐藤 陽

金子敬一郎
長島 茂
香川 靖嗣
狩野 了一

アフタートーク 馬場あき子、山本東次郎、友枝昭世

(16時55分頃終演)

狂言 素袍落【すおうおとし】

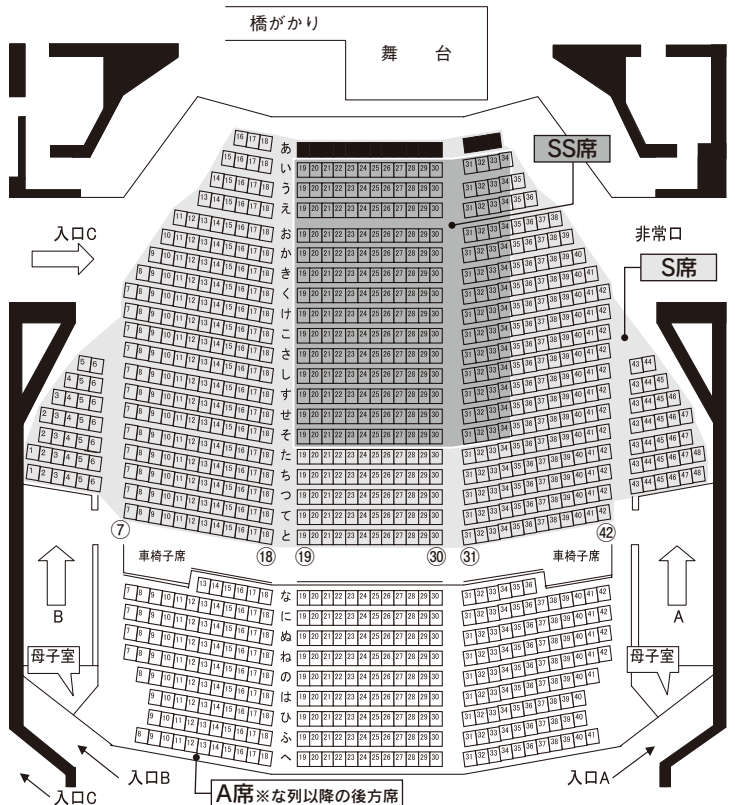
急に伊勢参りに行くことにした主人は、以前からの約束があったので伯父を誘ってこうと太郎冠者を使いに行ることになります。伯父から太郎冠者が餞別をもらおうと返札に土産を用意しなければならぬので、伯父に聞かれても供をするには言うなと命じます。しかし、太郎冠者は伯父の家で門出の酒を振舞われ、餞別に素袍(礼服)までもらって、酒に酔いながら上機嫌で帰路につきますが…。

能 羽衣【はごろもまいこみ】

舞込

駿河国(静岡県)三保の松原の漁夫白龍(ワキ)が釣りに出かけ、どかな浦の景色を眺めていると、一本松の木の枝に美しい衣がかかっているのに気がきます。家の宝にしようと思つて持ち帰りかけると一人の女性(シテ)が現れて白龍を呼び止め、それは自分のものだから返してほしいと頼みます。その女性は天人で、衣が天の羽衣であることを聞かされた白龍は、そんなに珍しいものかとさらに喜び、それならば国の宝にしようと思つて返すのを拒みます。羽衣がなくなると帰れないと空を仰いで嘆き悲しむ天人の姿を哀れに思った白龍は、羽衣を返すかわりに天人の舞楽を見せてほしいと頼みます。衣が無くては舞えないという天人に、白龍は衣を返してしまつたら舞を見せずにそのまま帰って行くのではないかと疑うが、そのようなことは人間のすることではないかと諭され、白龍は自らを恥じ、衣を返します。天人は羽衣を身にまとい月世界における天人の生活の面白さを、三保の松原の春景色を讃えた「駿河舞」を舞いながら、天空へと昇っていきます。

川崎市麻生市民館 ホール座席表



詳しくは [川崎市麻生市民館座席表](#)

検索

プロフィール

友枝 昭世 (ともえだ あきよ) ●能楽師 喜多流 シテ方



- 1940年3月24日生まれ。肥後熊本・加藤家・細川家のお抱え能役者の本座・友枝家に友枝喜久夫の長男として、東京に生まれる
- 1946年／能楽シテ方喜多流十五世宗家喜多美氏に師事
- 1978年／第28回芸術選奨文部大臣新人賞受賞
- 1994年／第16回観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞
- 1995年／第45回芸術選奨文部大臣賞受賞
- 1996年／「友枝会」(江戸幕府崩壊後、曾祖父友枝三郎のもと熊本にて発足)を父喜久夫没後継承
- 2000年／春の紫綬褒章受賞
- 2003年／日本芸術院賞受賞
- 2004年／伝統文化ポニー賞大賞受賞
- 2008年／重要無形文化財各個指定(人間国宝)認定
- 2011年／日本芸術院会員に就任
- 2020年／旭日中綬章受賞
- 喜多流宗家預り

山本東次郎 (やまもと とうじろう) ●能楽師 大蔵流 狂言方



- 1937年5月5日生まれ。山本東次郎家四世。三世東次郎の長男。山本会を主宰。
- 1964年／芸術祭奨励賞受賞
- 1992年／芸術選奨文部大臣賞受賞
- 1994年／第16回観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞
- 1998年／紫綬褒章受賞
- 2001年／エクスプローション音楽賞(邦楽部門)受賞
- 2007年／日本芸術院賞受賞
- 2012年／重要無形文化財各個指定(人間国宝)認定
- 2017年／日本芸術院会員に就任
- 2022年／旭日中綬章受賞。文化功労者顕彰。
- 一般財団法人杉並能楽堂理事長
- 著書 「狂言のすずめ」、「狂言のことだま」、「山本東次郎家 狂言の面」(玉川大学出版部)、「狂言 山本東次郎」(共著)(新人物往來社)、「中高生のための狂言入門」(共著)(平凡社)

馬場 あき子 (ばば あきこ) ●歌人



日本を代表する歌人、文芸評論家。短歌結社「かりん」主宰。古典や能に対する造詣も深く、喜多美入門。新作能の制作も行い、「影嬢」(国立能楽堂委嘱)は大好評を博した。文化功労者、日本芸術院会員、朝日歌壇選者ほか。「馬場あき子全集」全13巻ほか歌集や著書多数。川崎市在住。